

第7期琴浦町介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定にあたり

全国的に高齢化が進み、日本は高齢者人口が21%を超える「超高齢社会」となり、団塊の世代が75歳以上に到達するといわれている2025年には高齢化率は約30%になると見込んでいます。

このような中、本町の高齢化率は、2009年に既に約30%に達し、2025年には約38%に達すると予測しており、高齢者人口の増加に伴う医療・福祉などの問題や、ひとり暮らし高齢者世帯の増加による地域の支えあいや見守りなどに対応することは重要な課題であります。



本町がめざす将来像は「みんなが輝く住みよいまち」としており、その中で「だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり」を目指すため、早くから介護予防施策を中心とした取り組みに力を入れております。その結果、介護認定率の低下など徐々に効果が現れており、元気な高齢者が増加していると喜んでおります。また、「健康寿命1歳延伸」を目標に社会教育課、子育て健康課及び福祉あんしん課が連携しトレーニングルームの整備やウォーキングコースの開発、認知症予防を取り入れたツアーなどに取り組み、まち・ひとを元気にする事業を展開しました。

今後も、本計画の目標としている高齢者が可能な限りいつまでも住みなれた地域で暮らせるよう、予防・介護・医療・住まい・生活支援サービスを切れ目なく一体的に提供していく「琴浦町版地域包括ケアシステムの構築及び推進」のため、町民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、町民が輝き、「住んで楽しいまち」「住んで良かったまち」となるよう取り組んでまいります。

最後になりますが、本計画の策定にご尽力を賜りました本計画策定委員の皆様及び関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、今後も町民の皆様のご助言とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年 3 月

琴浦町長 小松弘明